

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025 年 10 月 15 日

訪日外客数（2025 年 9 月推計値）

◇9 月：3,266,800 人、過去最速で累計 3,000 万人を突破

- 9 月の訪日外客数は 3,266,800 人で、前年同月比では 13.7%増となり、9 月として過去最高を更新するとともに、同月として初めて 300 万人を超えた。また、9 月までの累計では 31,650,500 人となり、過去最速で 3,000 万人を突破した。
- 9 月は夏場のスクールホリデーの直後であり、訪日需要が落ち着く時期であることに加え、東アジアで台風による航空便への影響があったものの、継続的な訪日旅行の人気の高まり等もあり、東アジアでは中国、台湾、東南アジアではインドネシア、インド、欧米豪では米国、ドイツを中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- 中東地域で単月過去最高を更新したほか、台湾や米国、ドイツなど 18 市場で 9 月として過去最高を記録した。
- 2023 年 3 月に策定された第 4 次観光立国推進基本計画では 3 つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003 年～2025 年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 9 月過去最高の 18 市場は韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸 率 Change %	2024	2025	伸 率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,909,128 (3,587,187)	28.5 (29.8)	888,767	961,386	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,587 (3,368,573)	21.5 (22.1)	941,709	1,076,756	14.3
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)	3,377,985 (3,110,559)	7.6 (6.8)	930,229	1,054,045	13.3
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)	3,437,118 (3,161,501)	4.4 (3.5)	1,048,823	1,205,435	14.9
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)	3,428,000 *	16.9 *	1,437,126	1,648,279	14.7
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)	3,266,800 *	13.7 *	1,212,545	1,394,500 *	15.0 *
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1～9 Jan.-Sep.	26,880,892 (24,387,447)	31,650,500 *	17.7 *	9,496,453	10,857,200 *	14.3 *
1～12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2024年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2024) and provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年9月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for Sep. 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 9月	2025年 9月	伸率(%)	2024年 1月～9月	2025年 1月～9月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,872,487	3,266,800	13.7	26,880,892	31,650,500	17.7
韓国	South Korea	656,753	670,500	2.1	6,468,715	6,793,600	5.0
中国	China	652,405	775,500	18.9	5,247,791	7,487,200	42.7
台湾	Taiwan	470,635	527,000	12.0	4,585,890	5,036,700	9.8
香港	Hong Kong	170,216	149,500	-12.2	1,971,949	1,822,700	-7.6
タイ	Thailand	45,522	51,300	12.7	751,993	815,800	8.5
シンガポール	Singapore	37,433	40,500	8.2	390,356	430,500	10.3
マレーシア	Malaysia	39,905	43,800	9.8	318,136	407,000	27.9
インドネシア	Indonesia	35,081	44,100	25.7	350,601	449,100	28.1
フィリピン	Philippines	46,618	51,600	10.7	542,822	591,300	8.9
ベトナム	Vietnam	45,857	50,400	9.9	479,918	529,800	10.4
インド	India	17,865	25,400	42.2	170,812	233,400	36.6
豪州	Australia	85,667	96,600	12.8	637,273	755,200	18.5
米国	U.S.A.	191,942	224,700	17.1	1,960,146	2,397,700	22.3
カナダ	Canada	49,981	55,600	11.2	417,316	494,600	18.5
メキシコ	Mexico	14,972	19,700	31.6	107,083	137,900	28.8
英国	United Kingdom	37,413	47,100	25.9	318,224	391,900	23.2
フランス	France	30,745	38,800	26.2	283,844	331,900	16.9
ドイツ	Germany	37,092	52,800	42.3	241,551	319,400	32.2
イタリア	Italy	19,592	28,900	47.5	168,732	227,900	35.1
スペイン	Spain	19,052	24,700	29.6	129,580	179,000	38.1
ロシア	Russia	10,187	21,200	108.1	63,832	129,200	102.4
北欧地域	Nordic Countries	12,692	17,400	37.1	109,106	140,000	28.3
中東地域	Middle East	14,194	29,700	109.2	113,691	183,900	61.8
その他	Others	130,668	180,000	37.8	1,051,531	1,364,800	29.8

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は確定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are definitive, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

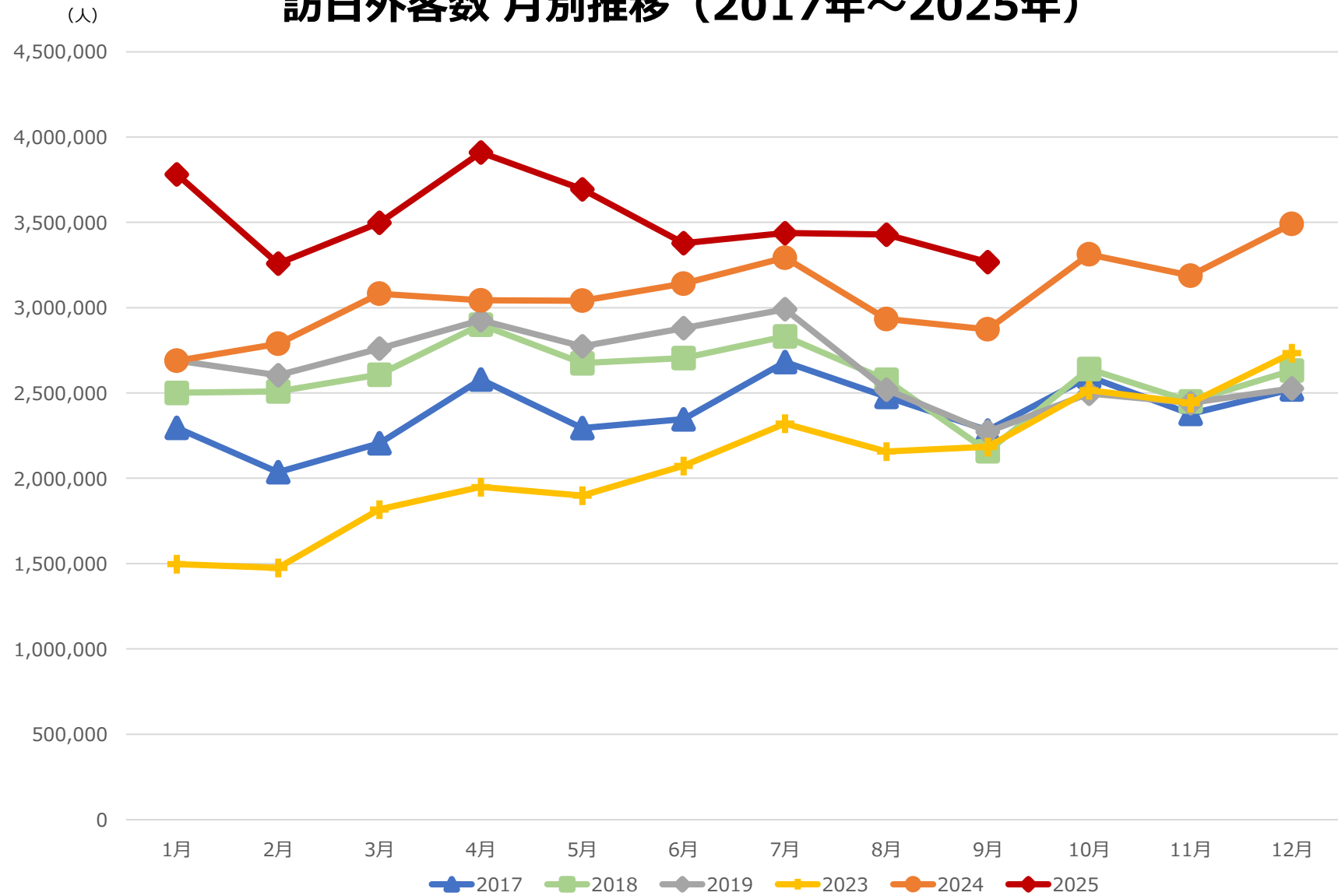
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2025年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は 2025 年 9 月の数値、これ以外の情報は JNTO で把握している最新の情報 (2025 年 10 月 8 日時点) としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で 2025 年 9 月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、670,500 人 (前年同月比 2.1%増)であった。前年は 9 月中旬にあった秋夕 (チュソク) 連休が今年は 10 月上旬となったこと等はあるものの、清州～北九州間の新規就航、仁川～成田間の増便をはじめとした航空座席数の増加等の影響もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- 中国は、775,500 人 (前年同月比 18.9%増)であった。前年は 9 月中旬にあった中秋節が今年は 10 月上旬となったことや台風 18 号の影響による航空便の欠航等があったものの、塩城～関西間の増便、北京～神戸間のチャーター便の運航等を含む地方路線による航空座席数の増加、クルーズ船の寄港等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- 台湾は、527,000 人 (前年同月比 12.0%増)であった。台風 18 号の影響による航空便の欠航はあったものの、地方路線による航空座席数の増加、9 月下旬の 3 連休等の影響もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- 香港は、149,500 人 (前年同月比 12.2%減)であった。訪日需要が落ち着く時期であることに加え、台風 16 号と台風 18 号の影響による航空便の欠航や前年は 9 月中旬にあった中秋節が今年は 10 月上旬となったこと等の影響により、訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- タイは、51,300 人（前年同月比 12.7%増）であった。経済の不透明感による海外旅行需要の低迷等があるものの、年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、バンコク～羽田間、バンコク～新千歳間の増便等による座席供給数の増加等により、訪日外客数は前年同月を上回った。
- シンガポールは、40,500 人（前年同月比 8.2%増）であった。一部路線での減便等の影響があるものの、年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、前年は 8 月末からであったスクールホリデーが今年は 9 月からとなったこと等の影響もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、43,800 人（前年同月比 9.8%増）であった。査証免除措置による訪中旅行の継続的な人気等があるものの、年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、マレーシアリングット高や連休とスクールホリデーの重なりの影響等もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、44,100 人（前年同月比 25.7%増）であった。年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、継続する日本人気の影響等もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、51,600 人（前年同月比 10.7%増）であった。一部路線の減便等の影響があるものの、年末に向けて徐々に需要が上向く時期である中、クルーズ船の寄港やマニラ～新千歳間の復便の影響等もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、50,400 人（前年同月比 9.9%増）※であった。経済の先行き不透明感による海外旅行需要の減少等の影響があるものの、ダナン～関西間の復便や、祝日等の影響もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。

➤ 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、25,400 人（前年同月比 42.2%増）であった。スクールホリデーや海外旅行需要の高まり、ベンガルール～成田間、デリー～羽田間の増便や経路便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、96,600 人（前年同月比 12.8%増）であった。減便等により前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、9 月下旬から始まったスクールホリデーや継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。

- **米国**は、224,700 人（前年同月比 17.1%増）であった。継続する訪日旅行人気や前年同月と比較して直行便数が増加したことに加え、スクールホリデーや紅葉シーズン等の混雑するシーズンを避けて訪日する動きもあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **カナダ**は、55,600 人（前年同月比 11.2%増）であった。前年同月と比較して航空座席数が減少したものの、継続する訪日旅行人気もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、19,700 人（前年同月比 31.6%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、9月中旬の祝日による訪日需要の増加や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、47,100 人（前年同月比 25.9%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、中国および香港経由等の経由便の多様化の影響やクルーズ船の寄港等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- **フランス**は、38,800 人（前年同月比 26.2%増）であった。9月はスクールホリデー後の旅行需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気に加え、若年層を中心とした訪日需要の高まりもあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、52,800 人（前年同月比 42.3%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、中国経由等の経由便の多様化の影響や10月上旬の祝日に向けた訪日需要の高まり等もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、28,900 人（前年同月比 47.5%増）であった。9月はスクールホリデー後の訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、2024年12月の羽田～ミラノ間の新規就航や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、24,700 人（前年同月比 29.6%増）であった。9月はスクールホリデー後の訪日需要が落ち着く時期であるものの、継続する訪日旅行人気に加え、2024年10月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加および経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、21,200 人（前年同月比 108.1%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、クルーズ需要の高まりのほか、中国経由をはじめとした経由便の多様化もあり、訪日外客数は9月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- 北欧地域は、17,400 人（前年同月比 37.1%増）であった。2025 年 1 月末からのストックホルム～羽田間の新規就航により訪日旅行に関する報道が増えていることもあり、訪日外客数は 9 月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- 中東地域は、29,700 人（前年同月比 109.2%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、9 月下旬のイスラエルにおけるユダヤ教の祝日や 9 月中旬に大阪・関西万博においてアラブ首長国連邦やサウジアラビアなど中東各国のナショナルデーが開催されたことの影響もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。